

未来を届ける：グローバルファイナンスファシリティ (GFF) 2023 年増資キャンペーン

コートジボワール、ドイツ、オランダ、世界銀行が共催するキャンペーン「未来を届ける」(Deliver the Future) は、世界の最貧国に住む女性、子供、青少年の健康と権利を強化することを目的としています。それによって、彼ら・彼女らのポテンシャルを最大限に活かし、より健康でより豊かな未来を実現します。

GFF へ投資することで、より多くより良い資金が保健医療分野へ

新たに 8 億ドルが 2023 年に GFF へ増資されれば、2025 年までに以下を含む総額 205 億ドルを動員できる見込みです。

- 国別保健医療計画のための世界銀行資金 80 億ドル。その内 20 億ドルは、女性、子供、青少年のための保健医療事業のため GFF が確保する追加資金
- その他開発機関からの資金 50 億ドル
- GFF 事業支援国の自国資金 75 億ドル

これにより、2 億 5,000 万人以上の女性、子供、青少年が必要 2 不可欠な保健医療サービスへアクセスできるようになり、新型コロナウイルス感染症のからの再起やよりしなやかな社会づくりが可能になります。

なぜ今が行動の時なのでしょう？

進歩の停滞と複合的な世界的危機により、女性、子供、青少年の命、権利、機会が危険にさらされています。

- 多くの低所得国は新型コロナウイルス感染症以前の経済成長を取り戻すことが難しい状況にあり、保健医療への支出は減ってきています。今後 5 年間を見ると、41 カ国の保健医療関連予算が、パンデミック前の水準を下回るであろうと予想されています。
- 2 億 5,000 万人以上の女性や思春期の女子が現代的な避妊法を利用できずにいます。また、毎年 450 万人以上の女性と乳児が、一般的には予防可能な疾病が原因で死亡しています。

より多くの女性、子供、青少年が、支払い可能な額で公平にプライマリ・ヘルス・ケア (Primary Health Care: PHS) にアクセスできるようになることで、命が救われるだけでなく SDGs の達成に向けて再び前進することができます。

- 女性、子供、青少年のニーズに応えられる強靱でしなやかな PHS の制度構築することは、どの国にとっても、また国際社会全体から見ても、最も賢明な投資の 1 つです。それは経済成長を促し、SDGs の達成に貢献することで、少なくとも 780 万人の命を救うことができます。
- 世界における妊産婦の死亡、死産、新生児および小児の死亡の 3 分の 2 が、GFF 事業支援国である 36 カ国で発生しています。改善するためには、これら事業支援国だけではなく、同じようにこれらの死亡率が高く GFF の支援対象になり得る国々においても、保健医療と開発の軌道修正が必要です。

2030年に予想される大幅な改善

8 億米ドル

2023 年新規資金

世界銀行、コートジボワール、ドイツ、オランダは 2023 年未までに GFF 向けに少なくとも 8 億米ドルの資金調達キャンペーンを立ち上げた。

資金調達第 2 ラウンドとさらに 7 カ国への新規拡大と部門横断的協働で

205 億ドル

2025 年までの総支出

完全に資金手当てされた GFF は 205 億米ドルを健康関連投資に支出

女性、子供、青少年の健康・医療向けに IDA から 20 億米ドルの追加的支出 (GFF の共同出資ない場合と比べ)

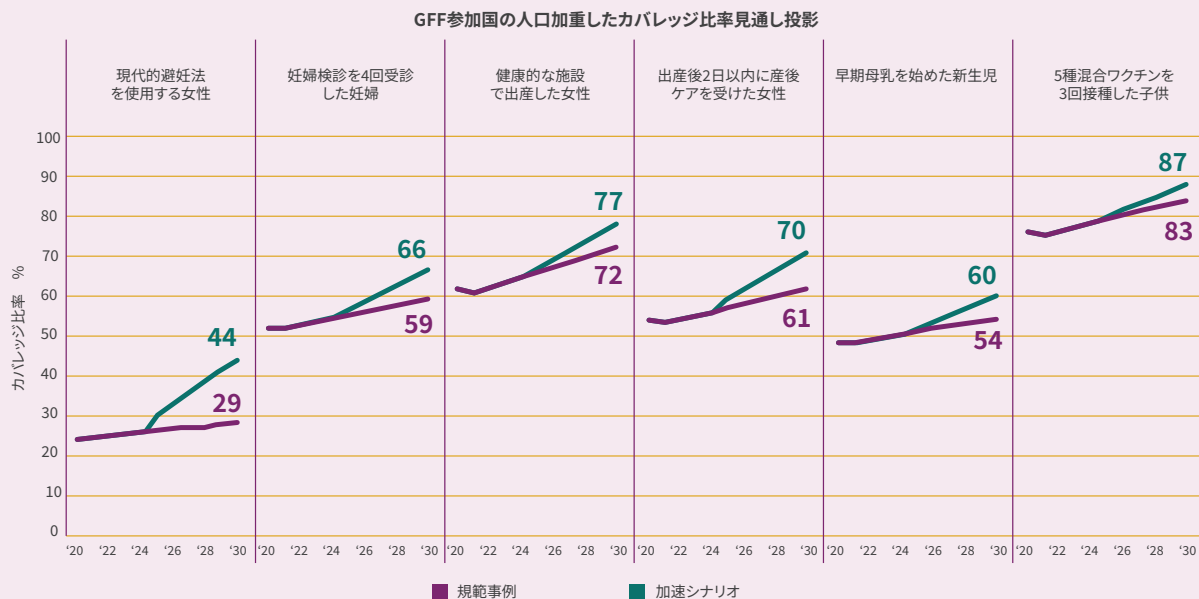
2 億 5000 万人

2030 年までの女性、子供青少年

GFF への新規投資は各国が 2030 年までに救命サービスへのアクセス拡大の加速を支援する。

7000 万人以上の女性、子供、青少年からのアクセスが追加される。(現行のアクセス増加トレンドと比べ)

現状投資と GFF 支援による加速投資との比較



出典:グローバル・ファイナンス・ファンリティ 注:ANC4=4回以上の妊婦検診の受診;PNC=産後検診;RMNCAH-N(リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)、妊産婦・新生児・子ども・青少年の健康と栄養)の将来的カバレッジ率予想は、関連各サービスの享受が予想される人数を、国連の人口部門がまとめた「2022年修正版世界人口」に基づく対象人口の予想人数で除して得た。資金手当てが全て完了したGFFにより可能となる加速シナリオでの関連各サービスの享受人数予想値を得る方法は脚注で説明している。**。

GFF 基金は、世界の最貧国が深刻な債務危機に直面している最中において、世界銀行の保健関連資金を最大限に活用し、財政上の余剰が限られていても対処することができます。

- GFF が持つ世界銀行の国別事業との直接的な連携により、GFF 基金と世界最大の譲許的資金源を組み合わせる期限付きの機会が IDA20 の増資により生まれ、保健医療への国内支出にコミットするよう各国政府を促します。これにより、女性、子供、青少年の権利と機会を拡大するためのヘルス・ファイナンスを推し進めます。
- また、事業支援国が技術支援や政策支援を受けられるようになり、女性、子供、青少年の権利と機会を拡大するための制度改革が可能になります。
- このキャンペーンにおける GFF への支援 1 ドルごとに、最大 10 ドルの世界銀行の融資が国別保健医療計画に対して動員される見込みです。

世界銀行グループ組織であるという GFF の特性、そして国連および市民団体とのパートナーシップを通じて、GFF は法改正と他分野にわたるターゲットを絞った投資の促進を支援しています。

- 女性、子供、青少年の保健医療サービスへの公平かつ効果的なアクセスにおいて、最も根強い障壁のいくつかは、改革を制度化するための法改正や最も弱い立場にある人々を対象とした社会的保護プログラム、思春期の少女たちにリーチするため教育分野との協力等を必要とする制度的問題に根ざしています。
- GFF の強みの一つは、セクターを超えて協調融資を行い、大規模な変化をもたらす政策の引き金を特定できることです。

なぜ GFF に投資するのでしょうか？

より多く、より良い資金調達 – そして保健医療関連のより良い成果を。

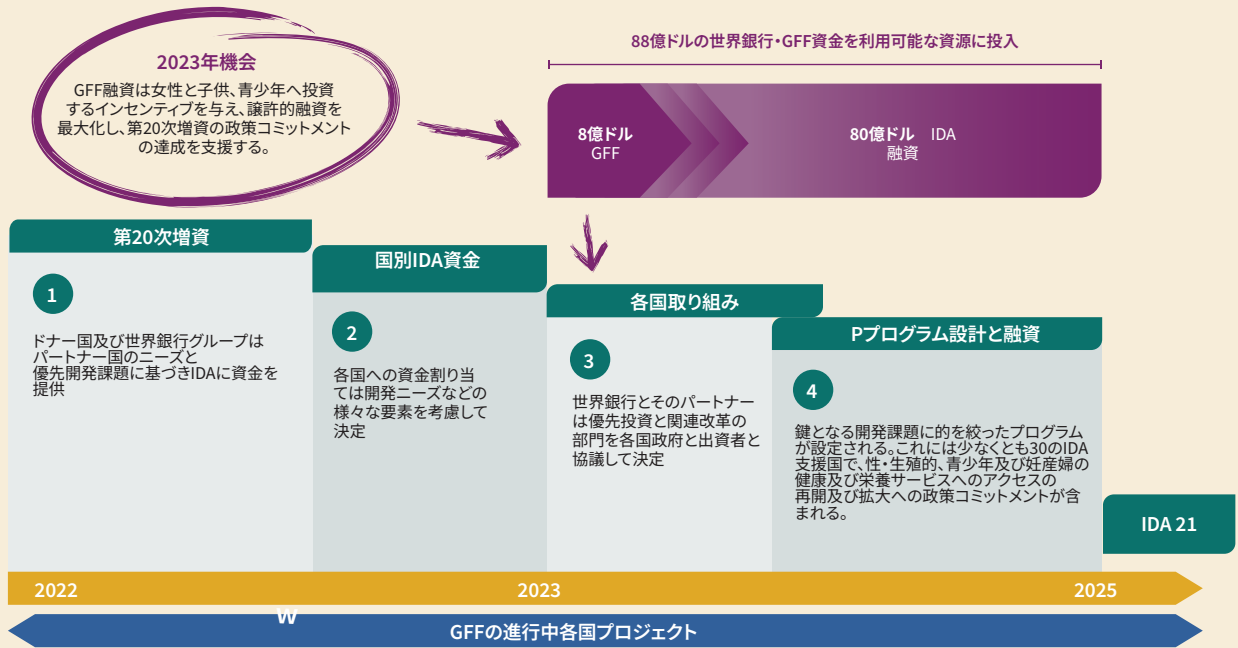
- GFF の 1 ドルごとに、世界銀行資金が 7 ドル、他の世界的資金提供者から 6.3 ドル、事業支援国の自国資金 9.3 ドルが動員されてきました。
- GFF 支援国において、世界銀行が保健関連事業に割り当てた資金額は 12% 増加しました。それに対して、GFF による支援基準を満たしているにも関わらず未だ支援を受けられていない国では、そういった資金額が 2% 減少しました。GFF と協力することで、より多くの資金が女性、子供、青少年の健康に割り当てられます。

制度改革や法改正に向けた過去の成果

すべての GFF 事業支援国は保健医療制度改革に取り組んでおり、そのうち 22 カ国は医療人材の育成と医療保健ケアの質の向上、18 カ国は財政管理、16 カ国は医療情報システムと住民登録・人口動態統計 (CRVS) に重点を置いている。

- モンザンビークで GFF が支援をしている事業では、施設における成果を向上させ、ボトルネックを特定するために、スコアカードの使用と地域社会における相談や案内を支払いに結び付けています。これにより、研修を受けた市民健康アドバイザーの数が 30 パーセント増加しました。

2023 年は、新たな健康関連投資と女性と子供青少年の権利と機会を前進させるための政策改革を進めるために、GFF グラントと譲許的融資の利用可能な世界最大の資金源を組み合わせが可能になる緊急で期間限定の機会となっている。



GFF 事業支援国 22 カ国は保健医療サービスへのアクセスにおける地域間のばらつきの削減に、18 カ国は社会から取り残された人々を優先しており、18 カ国はジェンダーの平等を促進するための具体的な行動に重点をおいています。

- ブルキナファソにおいては、市民健康アドバイザーに家族計画とリプロダクティブ・ヘルスに関する研修を受けさせることにより、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ（性と生殖に関する健康と権利）のための地域における保健医療制度の強化にフォーカスしています。2021 年には、家族計画とリプロダクティブ・ヘルスの研修を受けた市民健康アドバイザーの割合が最も高かった地域で、最も高い避妊率が報告されました。

世界銀行と GFF の支援を受けている 5 カ国において、包括的な性教育、青少年向けサービスの拡大、女子生徒の就学維持など、リプロダクティブ・ヘルスと権利に関する法改正を進めています。

- カメルーンでは、GFF が作成を支援した投資計画を通じて優先政策の 1 つとして特定されたのは、妊娠中の女子生徒が産休を取得しながら小中学校に留まることを認めるための法改正でした。

持続可能な資金調達に対する GFF のアプローチ持続可能な融資が成果を上げ、女性と子供、青少年向けヘルスサービスが優先され、大規模に統合されることを確実にしている。GFF 支援が 8 年にわたり、各国は以下の大変大きな前進を果たした。

20億米ドル

2015 年以來、パートナー国へ投入

320 億米ドル

女性、子供、青少年向け健康確保支出



960万人

4回以上の妊婦検診を受けた女性数



1 億 300 万人

美時に出産した女性数 ly



1 億 1100 万人

母乳早期開始の恩恵を受けた乳児数



5 億人

現代的家族計画へのアクセスができた女性数



1 億 8700 万人

望まない妊娠を避けられた女性数



1 億 5500 万人

2021 年単年で GFF 支援国で救命サービスを受けられた女性と子供の数

出典：グローバル・ファイナンス・ファシリティ

GFF関与プロセス:段階を追って

1

政府指導陣が、a) 保健・財務省、市民社会、若者、民間部門などの利害関係者で構成する RMNCAH-N の国家的プラットフォームを有するか構築する計画があること、b) IDA の資源を健康に充てて、その関連予算を増やす意欲があることを確認する

政府主導で経費を織り込んだ a) 優先度をつけたコストパフォーマンスの高い政府介入、b) 必要な政策及びシステム改革の実行、c) 国外からの支援のいかに同調させるかを説明した国家計画の作成。

2

この計画により各国は、国内予算、二国間及び多国間の支援、財団、及び民間部門からの資源のより広範な集積、協調、連動が可能となり、より効率的でインパクトを高められる。

3

計画が確定されると、各国は関連サービスのアクセス拡大、健康システム改革、国内資源活用拡大と効率化のための世界銀行融資プロジェクトの一環として GFF グラントにアクセスできる。

4

- 健康システム改革
- 高インパクト介入の拡大
- 健康向けのより多額でより良い融資

GFF の特徴は次のとおりです。

- **投資計画。**それぞれのGFF事業支援国は、女性、子供、青少年の健康を改善するための優先順位と戦略を定めた費用計画を策定します。これは、最も費用対効果の高い介入を目標にし、必要な政策と制度改革を実施し、持続可能性を担保した外部支援を調整するためのロードマップとして機能します。共同出資機関やその他のステークホルダーによる投資案件への支援を促すことで、各国における保健医療に対する支出に関する連携と調整を強化することを目指しています。各国は、ドナー国や国際機関だけでなく、市民社会や民間も含めた調整のために、各国は既存または新しいプラットフォームを使用します。
- **世界銀行とのユニークなパートナーシップ。**GFF は、世銀の各国でのプレゼンス、専門知識、財源、保健医療を超えた政府全体との関係を活かして、投資計画の効果的な実施をサポートします。その代わりに、世界銀行は、リプロダクティブヘルス、母子保健、栄養に関する GFF の柔軟な資金提供と専門知識、そして様々な関係機関からの資金提供と技術支援を集約する力の恩恵を受けています。その結果、より多くの世界銀行資金がこの課題に向けられ、事業支援国は栄養サービス、定期予防接種、訓練を受けた分娩員の立ち会いによる出産などの受益者の目標値を達成、あるいははるかに上回ることができました。
- **事業支援国のオーナーシップとリーダーシップの促進。**投資計画を様々な開発に携わるアクターの中心に置くことで、事業支援国が主導権を握り、国内予算、二国間および多国間援助、財団、民間などからの資金の調整、連携、蓄えが強化され、効率性と成果の拡大につながります。
- **市民社会と若者の参画を支援。**セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康と権利)などの保健医療事業からこれまで排除されてきたグループの声やニーズを高めることが、このモデルの鍵となります。GFF事業支援国における政府、外部機関、市民団体の間での対話、透明性、相互説明責任、協働の文化の向上に努めるとともに、アドボカシー、政策形成、情報公開において市民団体や若者が独立した役割を果たすよう財政支援をしています
- **資金をしなやかな制度と持続可能な成果へ。**GFF による投資は、直接的なサービス提供を超えて、医療従事者のスキルアップや、公共インフラ、財政管理システム、データシステム、そしてモニタリングにとって必要不可欠な改善を推進することで、レジリエンスを促進します。さらに、GFF の支援には予算があるため、それぞれの事業支援国が成長に合わせて保健医療のための自国資金を最大限に増やし、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの目標を達成する道が開かれます